

シルバー だより

第69号

発行日 令和5年10月1日
発行者 公益社団法人
宇都宮市シルバー人材センター
事務局 宇都宮市中央1-1-15
宇都宮市総合福祉センター6階
電話 028-633-5300
E-mail utsunomiya@sjc.ne.jp

駐輪場管理



施設管理



編みぐるみ制作



清掃業務



魅力あるセンターづくりを目指して



目次

○定時総会・安全標語表彰式	1
○部会活動・安全パトロール	2
○会員の声	3
○就業現場訪問	4
○事務局だより	5



令和5年度 第44回定時総会報告

公益社団法人 宇都宮市シルバー人材センター



石川元信理事長

令和5年6月9日(金)、宇都宮市総合福祉センター大会議室において、第44回定時総会が開催されました。

開催に先立ち、会員として意欲的に活動され、本センター発展のためにご尽力いただいた方々の正会員表彰が行われました。

その後開会となり、石川元信理事長からは、「令和5年度においても、インスタグラムでの情報発信や各種イベントの参加などの普及啓発活動を通して、様々な分野の方にセンターを知っていただき、より一層地域に根差したセンターとして躍進できるよう、皆が一丸となって取り組んでいくこととし、会員の皆さまにはより一層のご理解とご協力をお願いしたい。」との挨拶がありました。

議長には、会員の杉江房夫さんが選出され、令和4年度事業報告や令和5年度事業計画・予算についての報告の他、議案審議を行いました。総会で承認された議案は次のとおりです。

【議案第1号】 令和4年度決算について

【議案第2号】 役員を選任について



杉江房夫議長

表彰者名簿

(入会日順 敬称略)

高瀬 千代子
五味 洸
渡辺 燁子

野口 義明
竹之木 進 孝

中本 ミツ工
田崎 栄秀

大須賀 栄子
福田 倉之助

安全標語表彰式

令和5年5月22日(月)、宇都宮市総合福祉センター9A会議室において、今年で第3回目となる安全標語の表彰式が行われました。作品は、皆さんが就業中にハットした経験に基づくものや、仲間を思いやる気持ちが伝わってくる素晴らしい作品ばかりでした。

✿ 最優秀作品 (高澤 満さん)

「ただいまと 今日無事故で 帰る家」

✿ 佳作 (岡崎 郁男さん)

「気をつけて 慣れた作業の 落とし穴」

✿ 佳作 (山我 誠一さん)

「事故一瞬! ヒヤリ・ハットは 赤信号」



表彰式の様子

前列左より 山我さん 高澤さん

/// 皆さま、たくさんのご応募
ありがとうございました! ///

女性部会 《ちょこちゃんカフェ》



会場には、就業の様子や互助会活動の様子を紹介するパネル展示の他、編みぐるみや手作り石鹸の販売も行い、参加者からは「可愛い、作ってみたい」などのお声をいただきました。



令和5年7月18日(火)、宇都宮市総合福祉センター大会議室において、女性対象の座談会イベント「ちょこちゃんカフェ」を開催しました。当日は、18名の参加があり、現在センターで活躍中の女性会員さんを囲み、お仕事の内容や、やりがいについてなど、いろいろなお話を聞きながら、センターの活動を知っていただきました。たくさんのご質問もいただき、活発な座談会となりました。



ちょこちゃんカフェは、女性部会の企画イベントとして、今回初めて開催しました。女性会員の拡大を主な目的とし、イベントを通して参加者の方にセンターの魅力をお伝えすることができました。次回は、令和5年11月6日(月)に開催します。

今回ご協力いただいた、会員の皆さまと女性部会メンバー
後列 真ん中より 高橋さん、卜部さん、佐藤さん
前列 左より 下川さん、南木さん、永山さん、三森さん

安全パトロール実施報告

センターでは、毎月安全パトロールを行い、就業現場の安全について確認を行っています。



(鶴田町) マンション清掃



(竹下町) 除草・伐採



(細谷町) スーパー
カート・カゴ・リサイクル回収

さまざまな現場をパトロールさせていただきましたが、ほとんどの方が就業場所で定められた服装・装備を整えて安全に就業されていました。

引き続き、安全第一をお願いいたします。



シルバー人材センター
マスコットキャラクター
「チエブクロー」

会員の声

生き生きと活躍する会員の方々をご紹介します

『私の16年前の回想録』 上河内地区 伊藤 小浦

シルバーに入会して最初の仕事は、役場の清掃と公衆トイレの清掃で、4人で2組に分かれ、1週間交代で行いました。驚いたのは、あまりの汚さ。

手洗いや床まで、汚物や髪の毛が散らばっていたり、天井の隙間には卑猥な本が挟まっていたり。どうやったらきれいに使用してもらえるのかを考えた結果、花を飾ることにしました。私は花が大好きで、家の庭にはいろいろな花が咲いています。私の当番のときは、毎日花を替え、花器は落としても壊れないプラスチックの物を使い、花の無い時は、葉の物で飾りました。その結果、汚す人もいなくなり、利用者からも感謝されるようになり、セールスで各地を回っている方から、「県内で一番きれいだ」と褒められたときは、とても嬉しかったです。その後、上河内町シルバーが宇都宮市シルバーと合併し仕事も除草班に変わり、いろいろな経験をしました。途中から編みぐるみのグループに入り、今はちょこちゃんの制作に励んでいます。

今年退職された職員の佐藤美智子様には、本当にお世話になりました。ありがとうございました。



『私のシルバー人生について』 横川地区 森 孝則

今年6回目のうさぎ年を迎えました。シルバー人材センターに入会して5年目で、運搬班で働いています。

主な作業は、植木班への脚立の運搬・撤収や除草班・植木班の残材処理で、宇都宮を隅から隅まで2トントラックで走り回っています。入会して新しい仲間ができ、作業のことや日常生活の出来事など、たわいのない話をしながら、楽しく日々を送っています。

また、お客様から「ありがとう」、「おつかれさまです」などのねぎらいの言葉を掛けられると、やりがいや生きがいを感じられ、社会の一員として、まだ働いているという自覚が生まれてきます。

最後に、シルバー人材センターに入会して良かったとつくづく感じられ、友人、知人にも勧誘したいと思っています。



『お客様とのふれあい』 瑞穂野地区 光岡 富美子

シルバーでお世話になって満4年になりました。個人宅の家事援助サービスの他に、トイレ掃除を含む一般企業の屋内清掃作業をしています。

コロナ、熱中症と、何かと気を遣いながら仕事をしておりますが、依頼者の方々から温かく迎えていただき、社会とのつながりを持たせていただけて、感謝の気持ちでいっぱい、一日が早く感じます。

5年前、変形性膝関節症の手術をいたしまして、リハビリをしながら身体にプラスになることを何かしなくては、と思いシルバーに登録させていただきました。

おかげ様で仕事にも慣れましたが、今年の暑さは厳しく、汗びっしょりで大変です。そんな中でも、皆さまに「ご苦労さま」と声を掛けられると、とても嬉しく、毎日楽しく感じられます。

一日一日を大切にすること、健康第一に、生きがいを感じながら私らしく生きていけたらと思います。



就業現場訪問

アピタ宇都宮店

シルバー人材センターには、請負、委任、派遣、職業紹介の就業形態があります。今回は、洗車業務やサイクル修理、カート回収など、さまざまな種類のある派遣のお仕事の中から、スーパーの品出し業務をされている会員さんの現場にお邪魔し、いろいろなお話を伺いました。

Q 就業内容を教えてください。

A 『ドライ』と呼ばれる、お菓子や缶詰などの商品の品出しを行っています。

Q 就業中、どのようなことを心がけていますか？

A 商品を切らさないように、手際よく品出しをするようにしています。特に、レジ横やレジ付近の通路にある商品は、開店後お客様がレジに並ぶと狭くなり、品出しをするスペースがなくなってしまうため、出勤したら一番に品出しをするようにしています。また、品出し中にお客様とぶつかったり、商品を選ぶ妨げにならないよう、いつも気を付けています。

Q お仕事をする上で大切にしていることは何ですか？

A あいさつです。お客様がいらっしゃったら、「いらっしゃいませ」と元気にお声掛けをするようにしています。来店してくれたお客様に、気持ちよく、楽しみながらお買い物をしていただきたいというつもっています。



売れ筋の商品はあっという間になくなります。一つの棚やかごに入る商品量は、経験を積んで適量分かるようになったそうです。



新しい商品が次々に入ってくるので、場所を確認しながらの作業は大変ですが、新商品を見るのは楽しみでもあります。



同じドライの売り場でお仕事をする会員の皆さん
左から、石塚さん、栗原さん、永井さん、中澤さん

現場では、周りのお客様に気を配りながら、手際よく商品の品出しを行っており、会員の皆さんが明るい笑顔で就業されていました。

お話を伺った永井さんは、「何よりもお客様とのコミュニケーションが楽しい。顔見知りのお客様が声を掛けてくれたり、お客様から『あなたを見てると元気が出るわ。』などと言ってくれただくと、本当に嬉しい気持ちになります。」とおっしゃっていました。

商品を傷つけないために、市販のカッターは使わず、爪やすりを加工して自作した道具を使うなど、目の前のお仕事に一生懸命取り組みながら、常に楽しむことを大切にされているお姿が印象的でした。

〓 皆さま、お忙しいところ本当にありがとうございました。〓